

酒史学会大会における研究発表・講演の記録
平成 14 (2002) ~ 令和 5 (2023) 年

直近の開催順に掲載しています。

第 21 回大会 令和 5 (2023) 年 11 月 18 日

会場 東京新橋 日本酒造組合中央会会議室

「本格焼酎・泡盛とのペアリング」

宇都宮 仁 (日本酒造組合中央会 理事)

「サントリーウイスキー次の 100 年に向けて」

野口雄志 (サントリー (株) スピリッツカンパニー ブレンダー室 室長)

「古代出雲の酒について」

堀江修二 (ホリエ SFI 代表、元島根県工業試験場)

第 20 回大会 令和 4 (2022) 年 11 月 12 日

オンラインによる開催

「幕末期上方酒造家の江戸積 一降り酒問屋との関係構築をめぐって」

大浦 和也 (公益社団法人白鹿記念酒造博物館)

「幕末から明治初期のワイン造り -大藤松五郎と桂二郎を中心として-」

仲田 道弘 (公益社団法人やまなし観光推進機構)

「大神神社と神酒 (みわ)」

山田 浩 (大神神社 (三輪明神))

第 19 回大会 令和 3 (2021) 年 11 月 6 日

オンラインによる開催

「草双紙から読み解く江戸時代の酒文化」畑 有紀 (新潟大学日本酒学センター)

「世界の酒を食べる民族の暮らし」砂野 唯 (広島女学院大学, 人間生活学部)

「海外のサケ醸造所・クラフトサケ醸造所の歴史と現状」喜多 常夫 (きた産業株式会社)

「焼酎の履歴書 ~焼酎はどこからきたか~ 」鮫島 吉廣 (鹿児島大学)

令和 2 (2020) 年度は新型コロナウイルス感染症蔓延防止のために開催を見送った。

第 18 回大会 令和元 (2019) 年 11 月 9 日

会場 東大阪市 近畿大学東大阪キャンパス

「考古資料からみた近世伊丹の酒造り」赤松 和佳 (伊丹市教育委員会)

「中世京都の酒造遺構」網 伸也 (近畿大学)

「古代エジプト最古のビール造り」馬場 匡浩 (早稲田大学)

第 17 回大会 平成 30 (2018) 年 12 月 1 日

会場 東京都 早稲田大学早稲田キャンパス

「近世・近代の贗銘柄酒」岩淵 令治 (学習院女子大学)

「明治前中期の造酒技術」青木 隆浩 (国立歴史民俗博物館)

「発掘された近世の酒造関連遺構」谷川 章雄 (早稲田大学)

第 16 回大会 平成 29 (2017) 年 11 月 13 日

会場 京都市 月桂冠株式会社昭和蔵ホール
「種麴と甘酒」助野 彰彦 (株式会社菱六)
「甘酒の機能性」堤 浩子 (月桂冠株式会社)
「甘酒の歴史と今後の展開」北本 勝ひこ (日本薬科大学)
パネルディスカッション「甘酒を語る」

第15回大会 平成28(2016)年12月3日

会場 柏市 東京大学柏キャンパス
「古代西アジアのワインとビール」小泉 龍人 (東京大学)
「ゲノムから見る清酒酵母」赤尾 健 (独立行政法人酒類総合研究所)
「清酒酵母の今昔」大矢 禎一 (東京大学)

第14回大会 平成27(2015)年11月14日

会場 鶴岡市 国立大学法人山形大学鶴岡キャンパス
「東北地方から出土する「酒」墨書土器について」荒木 志伸 (山形大学)
「食の都庄内及び食文化都市を支える日本酒文化研究拠点」夏賀 元康 (山形大学)
「吟醸王国山形 - 県独自の取り組み - 」小関 敏彦 (山形県工業技術センター)

第13回大会 平成26(2014)年11月15日

会場 国立大学法人熊本大学 くすの木会館
「熊本酵母の歴史と保存、酵母の育種について」高浜 圭誠 (熊本県酒造研究所)
「球磨焼酎について」前田 一洋 (球磨の焼酎学校)
「山田錦と品種育成の歴史について」池上 勝 (兵庫県酒米研究所)

第12回大会 平成26(2014)年2月8日

会場 奈良市 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所族史
「酒と国家と民衆とー奈良時代の酒の諸相ー」山本 祥隆 (奈良文化財研究所)
『考古学からみた日本酒の歴史』の展覧会 ～「美酒発掘」より～ 廣岡 孝信 (檀原考古学研究所)
「菩提酛復活物語」大原 弘信 (菩提山正暦寺)

第11回大会 平成24(2012)年11月17日

会場 柏市 東京大学柏キャンパス
「ワインの民族史」蔵持 不三也 (早稲田大学)
「日本ウイスキーの起源『スコッチウイスキー』の誕生と進化」三鍋 昌春 (サントリービジネスエキスパート株式会社)
「日本ウイスキー90年の歴史」河井 敬司「(ニッカウイスキー株式会社)」

第10回大会 平成23(2011)年11月26日

会場 京都市 京都大学
「古代エジプトのビール」高宮 いづみ (近畿大学)
「酒米の育種と系譜」副島 顕子 (熊本大学)
「生酛の近代史」溝口 晴彦 (菊正宗株式会社)

第9回大会 平成22(2010)年9月25日

会場 東京都 文京シビックセンター
「ハチミツ酒について」寺本 祐司 (崇城大学)

「森鷗外とドイツビール—なぜ明治の先輩達はエールでなくラガーを選んだのか—」村上 満 (サントリー株式会社)

第8回大会 平成21(2009)年9月19日

会場 東京都 東京大学

「西アジアにおけるワインの起源」小泉 龍人 (早稲田大学)

「中世の酒米—『田植草紙』と初穂信仰」伊藤 善資

「醸造試験場初代技師 肥田密三氏をめぐる人間関係—高峰讓吉と高山勘太郎—」秋山 裕一 (元醸造試験所所長)

第7回大会 平成20(2008)年9月23日

会場 東京都 東京大学

「泡盛の文化史」小田 静夫 (泡盛文化交流会)

「日本の焼酎—その税制と技術史について」西谷 尚道 (醸造科学研究所)

「日本におけるウイスキーの歴史」福興 伸二 (サントリー株式会社)

第6回大会 平成19(2007)年12月8日

会場 東京都 東京大学

【対談】「考古学・民族植物学における酒史研究の展望」

谷川 章雄 (早稲田大学)・辻 誠一郎 (東京大学)

「発芽玄米酒の開発と温故知新」岡崎 光雄 (岡崎酒造株式会社)

第5回大会 平成18(2006)年12月9日

会場 京都市 人間文化研究機構総合地球環境学研究所

「吸酒管で飲む中東、東南アジア、アフリカの酒」寺本 祐司 (崇城大学)

「熱帯アフリカにおけるカビを用いた地酒づくり技法の比較」安溪 貴子 (山口大学)

「近代の北関東地方における近江商人の酒造経営」青木 隆浩 (国立歴史民俗博物館)

「清酒の機能性 “酒は百薬の長”を解明する」秦 洋二 (月桂冠株式会社)

第4回大会 平成17(2005)年10月29日

会場 東京都 東京大学

「ローカルな穀物酒とその醗酵微生物について」寺本 祐司 (崇城大学)

「日本酒造史の史料について」鎌谷 親善 (国立教育政策研究所)

「岐阜県白川村のどぶろく祭り」南 良則 (白川村教育長)

「宮水に関する説話の検証」高岡 祥夫 (白鹿記念酒造博物館)

第3回大会 平成16(2004)年10月16日

会場 東京都 東京農業大学

「日本における先史時代の酒造—課題と展望」辻 誠一郎 (東京大学)

「帰国後のコルシエルト」藤原 隆男 (富士大学)

「日本におけるビールの歴史と世界における現況」井上 喬 (秋草学園短期大学)

第2回大会 平成15(2003)年10月25日

会場 大阪市 大手前大学史学研究所

「中国江西省南昌李渡焼酎醸造遺跡について」秋山 進午

「西宮と伊丹の酒蔵発掘調査報告—釜場、搾り場について」川口 宏海

「明治・大正期における灘五郷の側面—出造り酒造家を中心に」加藤 慶一郎

「醸造家と建築—四季醸造蔵の近代」川島 智生

『酒造手引草』と『酒造米手引』に見る伊丹の酒 鎌谷 親善

第1回大会 平成14(2002)年11月16日

会場 東京都 文京シビックセンター

「酒嗜と酒器」寺岡 武彦

「酒宴にまつわる民俗」天野 武

『『日本山海名産図会』と伊丹の酒』鎌谷 親善

日本酒造史研究会・日本酒造史学会開催の講演会記録
昭和 59 (1984) 年～平成 13 (2001) 年

第 1 回 昭和 59 (1984) 年 6 月 13 日

会場：東京都 日本酒造会館

「酒と神々」加藤 百一

「江戸時代の酒造り」柚木 学

第 2 回 昭和 60 (1985) 年 4 月 18 日

会場：大阪市 大阪府民信用組合ホール

「酒器の変遷」森 太郎

「銘水を科学する」日下 譲

「平安造酒司の周辺」田辺 昭三

「樽回船」柚木 学

第 3 回 昭和 60 (1985) 年 10 月 19 日

会場：東京都 日本酒造会館

「酒の看板」天野 武

「コルシエルトと日本技術の近代化」鎌谷 親善

「清酒と焼酎のはざま」菅間 誠之助

第 4 回 昭和 61 (1986) 年 6 月 6 日

会場：東京都 北区会館

「木灰と日本酒の醸造」小泉 武夫

「吟醸酒の歴史」中村 欽一

「明治初期の酒造法」野白 喜久雄

第 5 回 昭和 61 (1986) 年 10 月 24 日

会場：名古屋市 愛知県中小企業センター

「酒の狂歌」永谷 正治

「知多酒の盛衰」篠田 寿夫

「亀甲鶴と酒造奴」森下 肇

「江戸・明治期の東海地方の地酒」山下 勝

第 6 回 昭和 62 (1987) 年 5 月 29 日

会場：東京都 日本酒センター

「東西の酵母文化」秋山 裕一

「種麴今昔物語」村井 豊三

「日本酒の歴史・日本酒の出来るまで」(VTR) 川島 宏

第 7 回 昭和 62 (1987) 年 11 月 6 日

会場：東広島市 ホテルつるかめ

「芸州藩における米と酒」飯田 米秋

「三浦仙三郎翁の生涯」迫田 積

「酒造用精米機の歴史」佐竹 利彦

第 8 回 昭和 63 (1988) 年 5 月 7 日

会場：京都市 思文閣会館

「南部杜氏」(VTR) 天野 武

「中世京都の酒づくり」川嶋 将正
「酒と薬」宗田 一

第9回 昭和63(1988)年10月28日

会場：東京都 日本酒センター
「南部杜氏」(VTR)天野 武
「僧坊酒」加藤百一
「杜氏のくらしとうた」武内 勉
「伏見の酒」栗山 一秀

第10回 平成元(1989)年5月27日

会場：東京都 日本酒センター
「稲麴と日本の酒造り」鈴木 昌治
「日本酒の技術」秋山 裕一
「醸造試験所設立前後」鎌谷 親善

第11回 平成元(1989)年10月21日

会場：金沢市 石川県教育自治会館
「加賀菊酒考」谷口 正幸
「七尾酒考」松浦 五郎
「古代信仰と酒・薬」今村 充夫

第12回 平成2(1990)年5月24日

会場：西宮市 白鹿記念酒造博物館
「山田錦物語」(VTR)
「酒の足持ちと杜氏褒美帳」森 太郎
「宮水の話」済川 要
「喜十郎邸とその酒蔵」吉村 博臣

第13回 平成2(1990)年10月12日

会場：東京都 日本酒センター
「酒造業の数量史」中村 隆英
「酒税について」池上 和夫
「G. ワグネルとO. コルシエルトの酒造観」藤原 隆男

第14回 平成3(1991)年6月7日

会場：東京都 日本酒センター
「料理と酒」松下 幸子
「江戸の酒と料理」芳賀 登
「現代の飲酒事情」吉澤 淑

第15回 平成3(1991)年11月20日

会場：新潟市 ミナミプラザホテル
「木桶からタンクへ」嶋 悌司
「江田鎌治郎先生」月岡 本
「越後杜氏発生のころ」中村 豊次郎
「日本酒のあけぼの」加藤 百一

第16回 平成4(1992)年6月5日

会場：東京都 日本酒センター

「カミと酒」神崎 宣武

「中国・成都市、国際酒文化学術討論会について」大塚 謙一

「醤油・近代科学とのかかわり」外池 良三

第17回 平成4(1992)年10月27日

会場：伊丹市 小西酒造(株)富士ホール

「伊丹の歴史とその文化的背景」和島 恭二雄

「近世伊丹の江戸積酒造業の展開」柚木 学

第18回 平成5(1993)年6月15日

会場：東京都 日本酒センター

「江戸時代の常陸」佐久間 好雄

「米の歴史と酒米」丸山 清明

「茨城の酒—その記録から—」風間 雍

第19回 平成5(1993)年11月12日

会場：京都市 月桂冠(株)

「日本の酒づくり・世界の中の日本の酒」(VTR)月桂冠(株)

「江戸初期における上方と東北の酒」吉田 元

「江戸時代に於ける酒造書」鎌谷 親善

「明治初期のお雇い外国人教師のみた日本の酒造技術」野白 喜久雄

「渡来人と京都の酒」井上 満郎

第20回 平成6(1994)年6月30日

会場：東京都 日本酒センター

「日本杜氏組合のことども」武藤 浩

「博多のねり酒」加藤 百一

「酒書にみる酒造り—「御酒之日記」・『童蒙酒造記』—」鎌谷 親善

第21回 平成6(1994)年10月4日

会場：鶴岡市国際交流センター・アマゾン民族館

「庄内天領の酒造業—大山市を中心に」本間 勝喜

「庄内の米と米造り」菅 洋

「ブラジルの口嚙み酒」山口 孝子

第22回 平成7(1995)年8月3日

会場：東京都 日本酒センター

「元禄期の酒造り—小西家「酒永代覚帳」と酒造書」鎌谷 親善

「アトキンソンとコルシエルト—旧跡を訪ねて—」藤原 隆男

第23回 平成7(1995)年10月19日

会場：長野市 長野ロイヤルホテル

「長野県酒造概況の変遷」小栗 勇

「日本最高標高の酒造り」黒沢 一男

「長野県史」塩入 隆

第24回 平成8(1996)年6月27日

会場：東京都 日本酒センター

「口嚙み酒の起源」吉田 集而

「伊丹の酒」鎌谷 親善

第25回 平成8(1996)年11月19日

会場：奈良市 平城宮跡資料館

「赤米タンニンを用いた着色酒類の製造－奈良地場食品産業の歴史－」山中 信介

「平城宮跡発掘調査－特に酒関係の発掘資料について」寺崎 保広

第26回 平成9(1997)年6月5日

会場：東京都 日本酒センター

「日本酒の来た道」花井 四郎

「甑(こしき)考」秋山 裕一

「御酒之日記」再考」鎌谷 親善

第27回 平成9(1997)年11月4日

会場：松山市 道後やすらぎ荘

「伊方杜氏について」榊田 佳明

「土佐の酒造りの今昔」広谷 喜十郎

「愛媛の酒の民族」森 正史

第28回 平成10(1998)年6月12日

会場：東京都 日本酒造組合中央会

「醸造試験所およびその周辺の歩み」蓼沼 誠

「酒米について」丸山 清明

「諸白について」鎌谷 親善

第29回 平成10(1998)年10月21日

会場：西宮市 酒ミュージアム

「所謂「灘の生一本」のこと」寺岡 武彦

「灘の酒屋の年中行事」鷺尾 三郎

「明治前期の酒造業の動向と酒屋会議」柚木 学

第30回 平成11(1999)年7月23日

会場：東京都 日本酒造組合中央会

「酒と浮世絵」古市 明紀

「酒器をめぐる民俗」天野 武

「酒と桶と樽」鎌谷 親善

第31回 平成11(1999)年11月9日

会場：神戸市 菊正宗酒造記念館

「水車精米について」寺田 匡宏

「生酏解説」(VTR) 森 太郎

「生酏と段仕込みのからくり」溝口 晴彦

第32回 平成12(2000)年6月28日

会場：東京都 日本酒造組合中央会酒情報館

「合成酒の歴史」大森 大陸

「三浦仙太郎と吟醸という言葉」池田 明子

「明治維新政府と酒造業」藤原 隆男

第 33 回 平成 12 (2000) 年 10 月 26 日

会場：盛岡市 大清水多賀別館

「最近の酒造業界について」鈴木 宏延

「岩手県工業技術センターの研究内容について」中山 繁喜

「日本酒造技術の変遷」鎌谷 親善

「岩手県酒造技術の系譜」藤原 隆男

第 34 回 平成 13 (2001) 年 6 月 9 日

会場：京都市 月桂冠 (株) 昭和蔵ホール

「伊丹の諸白づくり」鎌谷 親善

「シンポジウム—歴史の中の酒」安岡 重明／石川 健次郎／上村 雅洋／末永 国紀／瀬岡 誠

第 35 回 平成 13 (2001) 年 10 月 19 日

会場：東京都 日本酒造組合中央会酒情報館

「伏見の酒の歩み」栗山 一秀

「コルシェルトの大麥製日本酒醸造について」藤原 隆男

「元禄期の酒造り—『本朝食鑑』と『和漢三才図会』について—7」鎌谷 親善

第 36 回 平成 14 (2002) 年 5 月 11 日

会場：名古屋市 愛知県産業貿易館

「知多半島の醸造業を支えた条件」高部 淑子

「尾張。三河における酒造業と鋳物業」篠宮 雄二

「全国酒造家大会名古屋開催の経緯」篠田 寿夫

「中国、日本、東海地方の酒造技術史」山下 勝

